

# 令和2年度 学校自己評価システムシート ( 県立鳩山高等学校 )

目指す学校像	普通科、情報管理科併置の利点を活かした「実学」を通して、生徒一人一人を大切に、地域を支え地域の発展に貢献できるリーダーを育成する
--------	--

重点目標	1 主体的な学習態度の育成を通じた学力向上 2 キャリア教育の浸透と進路実現 3 規律ある生活習慣の確立と学校行事・部活動等の活性化 4 生徒の資質を高める地域連携の推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校関係者	名
出席者 生徒	名
事務局 (教職員)	名

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価 ( 月 日現在 )		実施日 令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<b>【現状】</b> 生徒の学力が多様化しており、基礎学力に課題を抱えた生徒もいる。多くの生徒は授業に取り組む姿勢が身に付いている。 <b>【課題】</b> ・基礎学力向上に向けた授業改善 ・家庭学習等に取り組むなど主体的に学ぶ態度の育成	基礎学力の定着と学習意欲の向上	①少人数授業及び少人数学級編制、その他学習支援等により「わかる授業」を実践する。 ②職員研修、授業見学等を生かし、教員間の学び合いを深め、授業改善をさらに推進する。 ③生徒の学習意欲を喚起するため、さまざまな機会にICTを活用する。 ④生徒が自ら学習する機会や姿勢を創出し、育成する。	①授業アンケートの満足度 ②学び合いの機会の回数及び授業アンケートの満足度 ③ICTを活用した教科及び授業時数 ④家庭学習に取り組む生徒の増加				
2	<b>【現状】</b> 生徒の進路希望は多岐に渡り、個に応じた指導が必要である。昨年度末の進路決定状況は良好であった。 <b>【課題】</b> ・3年間を通じたキャリア教育の再構築 ・生徒自身が自己理解を深める機会の創出	キャリア教育全体の改善とさらなる進路意識の向上	①進路実現に向けてキャリアデザインマップを策定し、全校で取り組む。 ②地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業を活用して、自己を見つめる機会を創出する。 ③個に応じた進路指導を実践する。 ④進路行事をより充実させる。	①キャリアプランに沿って取り組んだ学年、分掌の数 ②ソーシャルスキルトレーニング3回実施 ③進路指導の満足度 ④進路行事の実施回数				
3	<b>【現状】</b> 規律は概ね保たれており、校内は落ち着いた学習環境である。行事による学校活性化を図ることが出来ている。 <b>【課題】</b> ・生徒指導体制の充実 ・教育相談体制の整備 ・部活動の活性化	規律ある生活習慣態度の確立と自己肯定間の醸成 部活動加入状況の改善	①生徒指導体制を改善、さらにチャイムTOチャイムを徹底する。 ②校内美化により学習環境を確保する。 ③教育相談体制を改善し校内で情報共有をする。	①学校生活アンケートの結果 ②校内美化の状況 ③共有した回数 ①部活動HP更新回数 ②方針に基づいた活動計画の立案と実践				
4	<b>【現状】</b> 地域に根差した学校づくりが進んでいる。本校の教育活動に対する保護者の理解もより深まった。 <b>【課題】</b> ・多くの生徒が地域連携、ボランティア活動に携われる体制の確立 ・学校の様子が保護者・地域により伝わるよう、情報発信の更なる改善	保護者、地域、関係機関等との連携強化	①鳩山町との包括的連携協定を軸に「ハトミライ☆プロジェクト」等の地域連携をさらに進める。 ②地域資源を生かした教育活動を充実する。 ③学校公開及びPTA活動の活性化を進める。 ④HPの積極的な更新、広報紙発行、全教職員による中学校訪問等により本校の理解を深める。	①地域連携事業の数と関わった生徒数 ②地域の人材を生かした授業等の回数 ③学校公開日の設定及び保護者の参加数 ④HP更新回数、広報紙発行状況、中学校訪問の実施状況				